

# 観点別学習状況評価問題

## 《解答》

### 第12単元 円と球①

| 問題番号 | 配点          | 解 答                  | 評価規準                         | つまずきと指導の手だて   |
|------|-------------|----------------------|------------------------------|---|
| ①    | 20<br>(各5)  | ア 中心<br>イ 半径<br>ウ 直径 | [知技]円について、その構成要素の名称を理解している。  | 「円をかくときにコンパスを開いた幅が半径」「いちばん長い直線が直径」などと、イメージ化をして定着させたい。                   |
|      |             | ②<br>半径              |                              |   |
| ②    | 10<br>(各5)  | ① 円 ② 円              | [知技]球の性質を理解している。             | さわったり、見たり、切ったりした活動を想起させながら、球の性質を確認する。                                   |
| ③    | 20<br>(各10) | アウ、10                | [知技]円の直径の性質を理解している。          | 直径は中心を通っていること、長さは半径の2倍になっていることを確認する。                                    |
| ④    | 30<br>(各10) | (略)                  | [知技]コンパスを使って、円の作図ができる。       | 作図している様子をよく観察し、個々にあった支援をしたい。デジタルコンテンツなどを活用して、コンパスを使うときに気をつけることをおさえるとよい。 |
| ⑤    | 20          | (略)                  | [知技]コンパスを使って、同じ長さに区切ることができる。 | 長さを保存できるコンパスの有用性に気づかせる。なお、コンパスの跡を残すようにさせる。                              |

### 第12単元 円と球②

| 問題番号 | 解 答   | 評価規準  | つまずきと指導の手だて   |
|------|---|---|---|
| ①    | けん  | [思判表]半径、直径に着目し、直径10m(半径5m)の円のかき方を説明している。        | ゆみのやり方では半径10mの円になることを理解させる。                                     |
| ②    | もとめ方(略)(球の直径が8cmで、縦がその2こ分、横がその3こ分の長さであることにふれていれば可)<br>たての長さ…16cm<br>横の長さ…24cm | [思判表]球の直径についての理解を基に、直径と箱の縦、横の長さをとらえ、求め方を説明している。 | 真上から見た図を提示して考えさせる。また、ボールなどの直径を、実際にはかる活動を通して、球の直径についての理解を深めるとよい。 |

▶思考力・判断力・表現力の評価

| 評価  | A    | B  | C    |
|-----|------|----|------|
| 正答数 | 3問以上 | 2問 | 1問以下 |

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

| 評価           | A                                       | B   | C                                  |
|--------------|---|---|------------------------------------|
| 選択内容<br>記述内容 | 3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。 | 3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。 | どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。 |